

書くこと②

第1学年

大事なところを見つけて文章を書きまとめること

つまずきの実態

～こんな児童の姿が見られませんか？～

大事な言葉を見つけ、順序に注意して正しく文や文章を書くことが難しい。

自分の考えを明確にして書くことができていない。

きゅうりときゃべつと
とまとをきっておさ
らにいろよ。

トマトきゅうりときゃ
べつこのサラダたべて
げんきになってほしい
なあ

大事な言葉を見つけることができない。

順序に注意して正しく書くことができていない。

実践の概要

単元名

サラダでげんき おしゃべりレシピをつくろう!

『サラダでげんき』東京書籍

目標 材料やその効果などの大事な言葉を入れ、順序に注意してサラダのレシピを書く。

- 内容
- ・マス目の数を意識しながら、大事な言葉を探し、書き込む。
 - ・順序に気を付けて読みを深めるために、登場する動物の順序が視覚的にわかる「一枚ワークシート」に書く。
 - ・りっちゃんと動物たちによってできたサラダに、自分も何を入れたらよいかを付け加えてサラダのレシピを作る。

学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

	学習内容 (単元名)	つまずきの実態
第6学年	町の未来をえがこう	資料を正確に読み取っているが、「この資料が本文に述べられている要旨につながるものではない」という判断ができていない。
第5学年	和の文化について調べよう	自分の考えを明確に伝えるために文章構成を考えているが、効果的ではない。
第4学年	わたしたちの生活とロボットについて考えよう	様々な角度から考え、内容を整理して書くことや接続語や指示語、文末表現を効果的に使って書くことができない。
第3学年	要約名人になってもうどう犬リーフレットを作ろう	中心となる言葉や文を見つけ、要約することができず、長い文を書き写してしまう。
第2学年	どうぶつのひみつをみんなでさがろう	見つけた大事な言葉を使って、順序よく書きまとめたり、不要な言葉を省いたりすることができていない。
第1学年	サラダでげんき おしゃべりレシピをつくろう!	大事な言葉を見つけ、順序に注意して正しく文や文章を書くことが難しい。

単元末の目指す姿

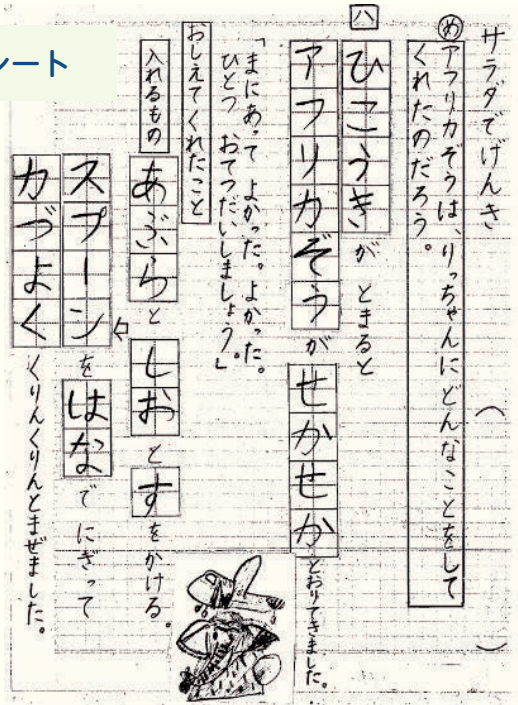
- ・本文の中から、大事な言葉を見つけられるようになる。
- ・自分の考えを明確にして、文章を書くことができるようになる。
- ・順序を意識しながら、本文を読み、文章に書きまとめられようになる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ①

マス目入りのワークシートを用いる。

活動のねらい ▶ 字数の条件を設定することで大事な言葉を見つけやすくなる。

マス目ワークシート



ここがポイント

国語の指導において、“本文に戻る”ことはとても重要である。1年生の段階から、授業展開に、字数をヒントに本文中の言葉を探させる学習を組み込むことで、一つ一つのことに着目する力を育む。また、自然に大事な言葉に導くことができるように文を精選している。

(期待される児童の姿)

マス目のワークシートを用い、字数の条件を設けることで、本文から大事な言葉を抜き出して書けるようになる。

つまずき解消に向けた指導の工夫 ②

毎時間、本文の大事な言葉をヒントにしながら「一枚ワークシート」に書きまとめる活動を行う。

活動のねらい ▶ 登場人物になりきってふき出しに書かせることで、自分の考えを明確にして文を書くことができる。

一枚ワークシート



ここがポイント

登場人物の出でくる順に、毎時間1つずつふき出しを書く。それが、1枚のワークシート上で行われることで、順序が可視化される。また、1枚に書きまとめることで、教師も児童の「書く」力の変容を見取りやすくなる。

(期待される児童の姿)

登場人物になりきってふき出しにまとめさせることで、大事な言葉を用いながら自分の言葉で文が書けるようになる。